

## 企業の透明性の向上への取り組み

### Harunabev. ShareHolder

#### ■ 企業株主様(50音順)

朝日火災海上保険株式会社 様  
 糸井商事株式会社 様  
 鹿島エレクトロ産業株式会社 様  
 株式会社 足利銀行 様  
 株式会社 イズミフードマシナリ 様  
 株式会社 ウエストコーポレーション 様  
 株式会社 環境技研 様  
 株式会社 群成舎 様  
 株式会社 群馬銀行 様  
 株式会社 つかさフードサービス 様  
 株式会社 東和銀行 様  
 株式会社 トーモク 様  
 株式会社 八十二銀行 様  
 株式会社 ビバック 様  
 株式会社 フレッセイ 様  
 株式会社 プレーン 様  
 株式会社 モテキ 様  
 株式会社 安田商店 様  
 群栄化学工業 株式会社 様  
 サッポロ飲料 株式会社 様  
 サンセイ電設 株式会社 様

税理士法人合同会計 様  
 高信化学 株式会社 様  
 高橋税務経営事務所 様  
 中央群馬ホーム 株式会社 様  
 東京海上日動火災保険 株式会社 様  
 東芝三菱電機産業システム 株式会社 様  
 日産サテリオ群馬 株式会社 様  
 日本生命保険相互会社 様  
 日本たばこ産業 株式会社 様  
 日本通運 株式会社 様  
 日本ベンチャーキャピタル 株式会社 様  
 八十二キャピタル 株式会社 様  
 榛名直販 株式会社 様  
 榛名酪農業協同組合連合会 様  
 細谷工業 株式会社 様  
 みずほキャピタル 株式会社 様  
 三菱商事 株式会社 様  
 三菱UFJキャピタル 株式会社 様  
 三菱UFJリース 株式会社 様  
 レンゴー 株式会社 様  
 和光化学株式会社 様

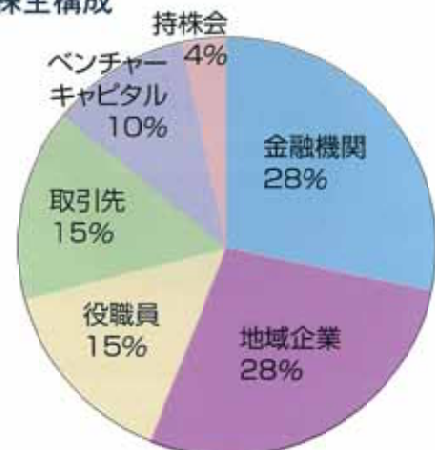
#### 「パブリックカンパニーを目指して」

当社では、創業直後より将来の株式上場を見据えて資本政策を検討してまいりました。そのなかで、資本政策の根幹としましては、当社の理念にご賛同いただき、当社の成長発展をご支援して下さる皆様に、幅広く当社株式を保有していただくことでした。企業は多くの皆様のご支援とご協力のもとに成り立っているパブリックな存在であり、その皆様に株式を保有していただくことが、当社の社会的意義にもつながると認識しております。

その結果、現在では、お取引先様、金融機関様、地元の企業・個人様および当社の役職員を中心に、95名の株主の皆様、当社株式を保有していただいております。

当社としましては、多数の株主の皆様、に株式を保有していただいていることに大変感謝し、株主の皆様、の利益に十分に配慮するとともに、企業の成長発展と社会貢献に尽力してまいります。

株主構成



### ■ 四半期報告会

当社では、2002年8月より継続して、四半期報告会を開催しています。

四半期報告会では、主として当社の四半期ベースでの業績を報告していますが、

その中では、財務情報のみならず、販売動向、製造効率や製造ロスの状況、品質情報、環境会計などのデータを全て報告し、株主の皆様や取引先金融機関の皆様へ、当社の業況をより深くご理解いただくための内容としています。

報告は、各部門の責任者が資料をもとに、直接口頭で説明させていただくので、その責任者に自分の業務についてより深く考えてもらう、そういう人材教育としての側面も、四半期報告会の意義として併せ持っています。

今後は、グループ全体としての連結経営体制がより重視されることから、各社の業況を

より分かりやすく説明させていただくことと、連結決算処理の短期化など業務改善を目指してまいります。

#### 第13期 第3四半期報告会 ハルナビパレッジ株式会社

日時：平成20年2月6日(水曜日)午前10時  
場所：ホテルメトロポリタン 6F 白鷺の間

- 一、開会宣言
- 二、第3四半期報告
  - 1) 業績概況報告
  - 2) 営業報告
  - 3) 生産報告
  - 4) 品質・環境報告
  - 5) 総括報告
- 三、タニガワパレッジ株式会社現況報告
- 四、ハルナグループ経営政策について
- 五、質疑応答
- 六、閉会宣言

当日はお取引金融機関様、株主様  
地元企業様、報道関係者様  
31社43名の方々にご参加を頂きました。



## リスク管理体制

企業運営にあたっては、様々なリスクが生じる可能性があります。主要なものとしては、経営リスク、営業・販売リスク、製造・品質リスク、安全に対するリスク、環境に対するリスク等が挙げられます。当社としては、これらのリスクに対処していくためリスク管理規定を設定し、万一リスクが発生した場合、適切な委員会および会議で対応を協議し対策の意思決定をおこなうこととしています。そして、全ての委員会および会議において、パブリックカンパニーとしてコンプライアンスを徹底しています。

### ■リスク管理に対しての委員会及び会議等の設置内容

<p>■グループ経営政策委員会</p>	<p>当社グループ全体の重要な政策を協議すると同時に、経営上重要なリスクが発生した場合の対処方針を協議する委員会です。グループ各社の代表取締役全員が委員となっており、経営危機管理規定に想定するような事態が発生した場合、緊急の対策本部ともなります。</p>
<p>■グループ経営監査委員会</p>	<p>当社グループ全体の内部統制が有効に機能しているかを監査する委員会、会社法による内部統制の観点から、内部統制を監査します。併せて、経営上重要なコンプライアンスの問題について協議し、グループとしての対処方針を提言していく委員会です。監査役及び経営監視役が全員、構成メンバーとなっています。</p>
<p>■執行会議</p>	<p>当社グループの各会社において、執行上の重要な意思を決定し、リスクに対応する会議として、各部門の責任者が全員出席し、原則週1回開催される会議です。開発、営業、生産、品質、物流など業務執行に関わる重要事項は全て報告および検討され、当社としての意思決定を行っていきます。</p>
<p>■HACCP委員会</p>	<p>当社では、平成18年9月に総合衛生管理製造過程（HACCP）が認可承認されました。当社の品質および衛生管理は、全てHACCPの理念および基準に基づくものとしており、本委員会は、総合衛生管理システム維持向上のための組織として、原則月1回開催され、品質および衛生管理の状況を確認するとともに、重要な意思決定を担っています。</p>
<p>■品質会議</p>	<p>HACCP委員会の下部委員会として、品質に係わるより詳細な対策内容の決定や検証についての打合せを行う会議です。品質上、重要な問題が発生した場合には、本会議にて協議することとなっております。</p>
<p>■安全衛生委員会</p>	<p>工場内外での業務活動における安全を確保するために、原則月1回開催され、安全を確保するためのパトロール、危険への事前対応および社員への意識付けを目的としています。</p>
<p>■環境委員会</p>	<p>当社が地域環境保全に問題を生じさせることなく、どのような貢献ができるかについて、協議する委員会、原則月1回開催されます。各種環境データを検証し、環境への対応について協議しています。</p>